

COVID-19 感染症

臨床研究の名称	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対するグルココルチコイド療法の有効性を検証する多施設共同後方視的研究
研究責任者の所属・氏名	研究責任者 さいたま赤十字病院 呼吸器内科 松島秀和 研究分担者 さいたま赤十字病院 呼吸器内科 西沢知剛
研究の概要	<p>【目的】 グルココルチコイド療法は、過去に流行したコロナウィルス感染症（SARS や MERS）の際に広く用いられました。今回の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的流行に際しても、他の治療薬とともにしばしば使用されていますが、WHO は使用を推奨していません。しかし、過去のコロナウィルス感染症（SARS）においては、ウィルスが排出された後にも炎症反応が持続し、加えて病理学的にはびまん性肺胞障害が惹起されると報告されていることから、グルココルチコイドの抗炎症効果は期待できると考えられます。</p> <p>今回は、COVID-19 に感染した患者さんのデータを後方視的に集積し、実臨床におけるグルココルチコイド投与群・非投与群を比較して、グルココルチコイドの有効性を評価します。さらに、どのような患者さんに効果があるか、最適な投与量・開始時期・継続期間なども併せて検討します。</p> <p>【対象患者】 2020 年 1 月から 2020 年 4 月までに COVID-19 感染症と診断され、入院を要した患者さん</p> <p>【方法】 上記の患者さんを対象に下記情報を収集し、解析を行います。その他、富士フィルム富山化学株式会社が実施しているファビピラビルの治験結果の考察への利用のため、収集した情報を匿名化した上で、富士フィルム富山化学株式会社へ提供します。</p> <p>【使用する情報】 患者背景（症状発現日、診断日、入院日、性別、年齢、身長、体重、人種・地域、合併症の有無と治療、喫煙歴等）、入院中のレントゲン・CT 所見や自覚症状、COVID-19 に対して実施した治療の詳細と転帰等、CT 画像</p>
個人情報の取り扱い	研究実施に係る情報を取り扱う際には予め患者の個人情報とは無関係な番号を付して情報を管理する。患者の個人情報が院外へ漏れないよう十分配慮する。
問い合わせ先	<p>【研究担当者】 所属：さいたま赤十字病院 呼吸器内科 氏名：西沢知剛 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心 1 番地 5 電話：048-852-1111</p>

※ 研究に情報を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益を生じることはありません。上記の問い合わせ先までご連絡いただけましたら、その方の情報は本研究に利用しないようにいたします。